

2008年10月21日
日本郵政株式会社

ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズ発行記念

原田泰治「ふるさと心の風景」展 -切手原画でめぐる日本の四季- の開催

会期：2008年11月22日(土)～2009年2月1日(日)／場所：通信総合博物館(1階特別展示場)

主催：日本郵政株式会社 郵政資料館 協力：諏訪市原田泰治美術館、郵便事業株式会社

通信総合博物館(所在地：東京都千代田区大手町2-3-1)では、2008年11月22日(土)から2009年2月1日(日)まで、ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズ発行を記念して、原田泰治「ふるさと心の風景」展-切手原画でめぐる日本の四季-(主催：日本郵政株式会社郵政資料館)を開催します。



秋一色(茨城県行方市) 絵/原田泰治

画家・グラフィックデザイナーとして活躍中の原田泰治氏が全国各地のなつかしいふるさとの風景を訪ねて描き続けた四季の美しい絵が、ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズの切手となり、平成20年5月2日に第1集「夏の風景」、9月1日に第2集「秋の風景」が全国の郵便局で発売されております。そして11月4日には、第3集「冬の風景」が発売される予定です。

本展では本シリーズの発売を記念し、切手とその題材となった原画(夏の風景・秋の風景・冬風景各10点)を展示するほか、「夜桜」「ふるさとの思い出」など、同氏が春の風景を描いた作品(10点)を併せて展示します。

いつまでも残しておきたい、なつかしい日本の四季折々の原風景とともに、自然に囲まれた中での人々の暮らしなどを描いた作品が一堂に会します。

《展示概要》

- 主な展示作品は、「夕日の湖」(滋賀県)・「時の鐘」(埼玉県)・「野良時計」(高知県)・「コスモス」(福井県)・「黄金色の山」(富山県)・「秋一色」(茨城県)・「祝福」(神奈川県)・「ストーブ列車」(青森県)、海辺の駅(北海道)・「雪国の暮し」(岩手県)などです。

- 原田泰治が描いた葉書の展示コーナー

年賀葉書の地方版(信越版)裏面の葉書と原画、暑中見舞葉書の裏面、エコ葉書の信越版を展示します。

主な作品は、絵入り年賀葉書信越版「雪の山村」(昭和58年11月4日発売)、暑中見舞葉書「野良時計」(平成20年6月2日発売)、エコ葉書信越版「友禅ながし」(平成20年9月29日発売)などを展示。

- ビデオ上映コーナー

原田泰治氏の生い立ちや制作の様子を紹介するビデオの上映

- (1) 「夢」 生い立ち：原田泰治氏の生い立ち、画家・原田泰治の誕生まで(13分)
- (2) 「風」 画家・原田泰治：感動の風景を探す取材から作品ができるまで(10分)
- (3) 「道」 世界を舞台に：旧ユーゴスラビア、アメリカなど海外での取材活動(10分)
- (4) 「心」 原田泰治と仲間たち：さだまさし氏など、仲間たちから見た原田泰治氏(9分)
- (5) 絵本「とうちゃんのトンネル」：幼年時代の実話をもとに制作された絵本の朗読(14分)
- (6) 四季・原田泰治の世界：さだまさし氏の音楽にのせて、原田泰治の世界を紹介(11分)

- 特製絵葉書「秋一色」(茨城県行方市) 絵/原田泰治 を毎日先着 400名の方にプレゼントします。

《原画作者 原田泰治 プロフィール》

昭和15年4月29日、長野県諏訪市に生まれる。

武蔵野美術短期大学を卒業後、グラフィックデザイナーとして活躍する傍ら、少年時代を過ごした長野県伊賀良村(現在、飯田市)をモチーフにした絵を描き始める。昭和57年から朝日新聞日曜版で、「原田泰治の世界」を連載。画家としての世界観を確立し、アメリカでの個展を実現、平成9年には長野冬季オリンピック競技大会芸術祭にも参加した。平成10年「諏訪市原田泰治美術館」開館。精力的に全国を取材して回り、古きよき日本の情景を作品に残している。

ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズ



第1集「夏の風景」

2008年5月2日発行

第2集「秋の風景」

2008年9月1日発行

第3集「冬の風景」

2008年11月4日発行予定

(このシリーズ切手の題材となった原画を展示します。)

以上

逓信総合博物館(ていぱーく) 概要

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1

アクセス：地下鉄「大手町駅」下車 A4・A5 出口すぐ

※東京メトロ：丸の内線、半蔵門線、東西線、千代田線

※都営三田線

JR「東京駅」下車丸の内北口より神田方面へ徒歩 10 分

入館料：個人 大人 110 円 / 小・中・高校生 50 円

団体 (20 名以上) 大人 50 円 / 小・中・高校生 25 円

(小・中・高校生のみ日曜・祝日は無料)

休館日：月曜休館 (月曜祝日の場合は火曜休館)、年末年始



逓信総合博物館は1902(明治35)年、万国郵便連合(UPU)加盟25周年記念祝典行事の一環として誕生した「郵便博物館」から始まり、100年以上の歴史を誇る博物館です。

当館は、日本で唯一の「情報通信関係の総合博物館」であり、関係資料の収集、保存、展示、調査研究などの活動を通じて郵政・電気通信・放送の各事業の啓発及び普及を図ることを役割としています。現在は、日本郵政株式会社・東日本電信電話株式会社(NTT 東日本)・日本放送協会(NHK)が共同で運営しています。

【お問い合わせ先】

日本郵政株式会社 郵政資料館

電話：(03)3244-6821

担当：井上